

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市市名坂児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク
3	指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 21,737人 (前年度比 95.4%) 平成28年度 22,783人 平成27年度 28,814人 平成26年度 29,950人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 40,143千円 (35,549千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート, 児童館運営懇談会, 児童クラブ保護者会を実施。 ()は前年度決算額

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。特に、避難訓練実施にあたっては、災害の状況、対象者、時間帯等、様々なケースを想定した訓練を行っている。	S
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
IV	サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だけの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境作りに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。職員は、利用者に対する気持ちのよい挨拶や丁寧な対応を心がけている。	S
V	施設固有の基準	職員間の情報共有や小学校との連携を図りながら安全に配慮したサテライト運営を行っている。児童クラブ通信の発行と日々のやり取りを通して保護者との相互理解も図られている。「学校の森」や「畑」を活用した自然体験、集団での様々な遊びを提供し、遊びの幅を広げる取り組みも行っている。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク）による自己評価》
<p>当児童館は児童福祉法を踏まえ、次の「3つのいっぱい」のスローガンの具現化をめざし運営してきた。 ～「笑顔がいっぱい」「仲間がいっぱい」「支え合いがいっぱい」～ これらの文言は、昨年度10月に制定した児童館の歌「朝日がにっこり」の歌詞に盛り込み、各行事や児童クラブの「帰りの会」などで愛唱してきた。</p> <p>子育て支援事業は、幼児親子行事「びよ1・2」（0～2歳自由参加）や「カリメロクラブ」（2・3歳登録制）が好評で、笑顔が広がり、子育て家庭にとってはリフレッシュの場となった。また、月2回程度「プラレールの日」を充実させたことで、毎回楽しみに参加する幼児親子が増え、交流の場となり利用促進にもつながった。</p> <p>児童クラブは登録者数が多く、4月の開設時は児童114名の受け入れでスタートした。市名坂小学校の生活科室と多目的ホールをサテライトとしての利用が始まり、小学校の丁寧な連携協力のお陰で円滑なサテライト運営が推進できた。本館とのサービスの均質化を図るため、全職員がサテライト担当を輪番で担当し、課題や情報を常に共有しながら課題改善を図ってきたことが児童の高い満足度に繋がった。</p> <p>地域との交流事業では、泉区中央市民センターとの共催「あそびの天国」、中央地区近隣の5つの児童館と保育所との連携事業「ちびっこフェスタ」、市名坂小学校PTA事業への参加協力など、出前児童館の回数と会議等への参加で大忙しだったが、地域全体における子育て支援に貢献できた1年間だと実感している。</p> <p>最後に、当館職員の「自覚と責任ある業務遂行」及びチーム児童館としての「職員間の連携」は、より質の高いサービス提供と利用者の満足度アップの原動力となった。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>子育て世帯が多いという地域特性を踏まえ、発達に合わせた定期的な乳幼児行事や母親がリフレッシュできる行事を企画・実施している。また、定例行事の中で保護者が創作活動をする時間を設けたり、作った作品を「小箱美術館」として館内に掲示したりしている。そのほか、看護師や保育心理士を交えた相談と交流の場を設けるなど、子育て家庭の支援に取り組んでいる。</p> <p>児童の健全育成事業では、年度始め、遊戯室や児童クラブ室等、各室の使い方について話し合った結果を「使い方のルール」として各室に掲示しているほか、高学年児童が月1回定期的に活動する機会や児童館まつりのスタッフとして活躍できる場を準備するなど、自ら進んで役割を果たせる機会を設けている点は評価できる。また、児童館だからこそできる遊びや直接体験を大事にした活動に積極的に取り組み、様々な遊びを通して、児童の自主性や社会性を育てている。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室